

令和元年度（2019年度） 学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
球磨	山江村	山江村立山田小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>①ごみの分別をします。</p> <p>②節電・節水に心がけます。</p> <p>③学校をきれいにします。</p> <p>④学校を四季折々のきれいな花でいっぱいになります。</p> <p>⑤物を大切にします。</p>
行動		<p>① ごみの分別</p> <p>分別の仕方を提示し、紙のリサイクル用のボックスを用意した。毎月計量し、全校児童に知らせるための放送やグラフ掲示をすることで分別意識を高めた。</p> <p>毎月末週にペットボトルキャップ集めを行い、家庭には学級通信などで呼びかけ、地域の方などからもたくさん協力してもらった。集めたペットボトルキャップは、村の社会福祉協議会の方へ渡し、村としてワクチン支援の団体の方へ配送される。</p> <p>② 節電・節水</p> <p>教室を出る際には日直や係の人が電気を消し、節電に努めた。エアコンの設定温度を定め、掲示しておくことで設定温度を守るようにした。</p> <p>歯磨きやうがいをするときは、コップを使うよう呼びかけることで節水に努めた。掃除でぞうきんを使うときには、バケツ半分の水で洗うようにした。</p> <p>プログラミング・ロボットによる節電・節水の呼びかけを行い、意識化を図った。</p> <p>③ 清掃活動</p> <p>朝のボランティアで校内や校庭の清掃に取り組んだ。全児童が登校後に進んで活動をしていた。給食後にごみ拾いをし、一人一人が後始末をきれいにできるようにした。掃除の時間は、縦割り班掃除を年間通じて行うことで、高学年のリーダーシップのもと無言清掃が徹底できている。</p> <p>また、環境美化委員会の児童が毎週月曜日に校庭を周り、ごみ拾いを行った。</p>

		<p>④ 花栽培 それぞれのクラスに学級園があり、季節に合わせて花の植え替えや手入れを行った。できるだけ種から児童の手で育て、学校が花いっぱいになるように、学級での取組に力を注いだ。</p> <p>⑤ ものを大切にする取組 環境美化委員会が、ものへの記名を全児童に呼びかけた。また、各学級で「棚の入れ方」や「靴箱でのかかとをそろえて並べる」などの指導が行われ、児童一人一人が「ものを大切に対することは、心を大切にすること」への意識化を高めた。</p>
<p>記録</p>		<p>環境 ISO 宣言を各教室に掲示している。各項目の取組について啓発のポスターを作成し、水道などに掲示した。取組の結果について、給食時に放送で呼びかけることや環境掲示板で知らせることなど更なる意識付けを行っている。</p>
<p>見直し</p>		<p>○ごみの分別の取組 月によってたくさんのごみが出た時期もある。リサイクルの意識を職員から見直すように研修の際に知らせたり、名刺以上の紙はリサイクルできることが分かるようにボックスに貼り付けたりと視覚的に分かるようにした。まだまだ、ごみの分別の徹底ができてはいないが、今後も啓発を続けていきたい。</p> <p>○節電・節水の取組 季節変動により、夏のエアコン使用量が多少上昇したが、その分を他で節電できるように呼びかけを行った。プログラミング・ロボットによる啓発で、興味関心が高まり意識化は高くなったように思えるが、それが根付くように工夫をしていきたい。</p>

## 2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○環境美化委員会の子供たちの自主的な活動を促すために、活動や記録の仕方を工夫させた。環境に優しい学校づくりを行うために、どんな活動をしたらよいかと自主的に考えるようになった。</p> <p>○各学級園で季節毎に花を植え替えることにより、花いっぱいの学校にすることができた。</p> <p>○環境に対するポスター・標語の作品に応募しポスター・標語とも優秀賞を受賞した。児童の環境への関心向上につながり、エコ推進に貢献した。</p>	<p>○家庭で取り組む環境 ISO 宣言などを行い、家庭啓発にもう少し取り組むとよかった。</p> <p>○集会での呼びかけ等は行ったが、日常活動が環境委員会の活動から広がらなかった。学級化から個人のエコ活動まで進めて、一人一人のエコ意識の向上を一層図れるようにしたい。</p>